



平成28年8月9日

各 位

上場会社名 昭和電工株式会社
 コード番号 4004 東証第1部
 代表者 取締役社長 市川秀夫
 問合せ先 財務・経理部 IR室長 加藤信裕
 TEL (03) 5470 - 3323

第2四半期累計期間連結業績予想との差異、通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成28年2月10日に公表しました平成28年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、当社は、最近の業績動向を踏まえ平成28年12月期通期連結業績予想を修正いたします。

記

1. 平成28年12月期第2四半期累計期間連結業績予想との差異
 (平成28年1月1日～平成28年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成28年2月10日発表)	百万円 360,000	百万円 10,000	百万円 7,500	百万円 2,000	円 銭 14.00
今回実績(B)	321,572	11,536	7,010	1,592	11.15
増減額(B)－(A)	△38,428	1,536	△490	△408	
増減率(%)	△10.7%	15.4%	△6.5%	△20.4%	
ご参考 前期第2四半期累計期間 (平成27年12月期)	396,980	16,109	15,500	1,280	8.96

平成28年7月1日付で普通株式につき10株を1株とする株式併合を行いました。これにより当期、前期ともに株式併合後の株式数を基に算出しております。

2. 差異の理由

売上高は、石油化学セグメントは原料ナフサ価格が年初予想を下回ったためエチレン等製品価格が想定を下回り減収となり、エレクトロニクスセグメントはハードディスクの出荷枚数が予想を下回ったため、総じて減収となりました。

営業利益は、エレクトロニクスセグメント、無機セグメントが年初予想を下回ったものの、アジアでの堅調な需給を受け石油化学セグメントが大きく増益となり、化学品、アルミニウム、その他の3セグメントも増益となりました。

経常利益は、急激な円高の進行により為替差損を計上したため減益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益についても年初予想を下回りました。

3. 平成 28 年 12 月期通期連結業績予想の修正

(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 28 年 2 月 10 日発表)	百万円 765,000	百万円 36,000	百万円 31,000	百万円 20,000	円 銭 140.03
今回修正予想(B)	670,000	30,000	23,000	9,000	63.10
増減額(B)－(A)	△95,000	△6,000	△8,000	△11,000	
増減率(%)	△12.4%	△16.7%	△25.8%	△55.0%	
ご参考 前期 (平成 27 年 12 月期)	780,958	33,672	32,225	969	6.78

平成 28 年 7 月 1 日付で普通株式につき 10 株を 1 株とする株式併合を行いました。これにより当期、前期ともに株式併合後の株式数を基に算出しております。

4. 業績予想修正の理由

当社は、円高の進行等最近の経済動向の変動を踏まえ、期後半(平成 28 年 7 月～12 月)の業績予想の前提となる為替レート、ナフサ価格を下記のように見直します。

為替レート 100 円/ドル (年初予想 同 119 円/ドル)

ナフサ価格 32,200 円/k1 (同 42,200 円/k1)

売上高は、石油化学セグメントは堅調な需給が続くものの原料ナフサ価格の下落を受け製品価格が年初予想を下回るため減収を見込み、エレクトロニクスセグメントはハードディスクにつき PC 向け出荷減をサーバー向け出荷増で補えず、総じて減収となる見込みです。

営業利益は、石油化学セグメントはアジアでの堅調な需給を背景に高稼働が続くため増益となり、アルミニウムセグメントも増益を見込みますが、エレクトロニクスセグメントが為替レートの見直しの影響に加え HD メディアの出荷が予想を下回るため減益を見込み、無機セグメントも黒鉛電極の市況が予想を下回って推移するため減益となり、総じて減益となる見込みです。

経常利益は、営業利益の減益に加え上期の為替差損の計上により年初予想を下回る見込みです。これにより親会社株主に帰属する当期純利益も年初予想を下回る見込みです。

以上

(ご参考) 平成 28 年 12 月期通期業績予想 セグメント別売上高、営業利益 (連結)

(単位: 億円)

		平成 28 年通期業績予想 (連結)			前期実績 (H27. 1~H27. 12)
		前回予想 (H28. 1~H28. 12) H28. 2. 10 発表	今回予想 (H28. 1~H28. 12) H28. 8. 9 発表	増 減	
石油化学	売上高	2, 110	1, 800	△310	2, 313
	営業利益	120	150	30	105
化学品	売上高	1, 440	1, 350	△90	1, 423
	営業利益	130	130	0	107
エレクトロ ニクス	売上高	1, 210	930	△280	1, 315
	営業利益	155	95	△60	175
無機	売上高	670	520	△150	635
	営業利益	△20	△55	△35	△12
アルミニウム	売上高	1, 020	980	△40	1, 008
	営業利益	35	40	5	26
その他	売上高	1, 620	1, 570	△50	1, 525
	営業利益	20	20	0	15
調整額	売上高	△420	△450	△30	△408
	営業利益	△80	△80	0	△79
計	売上高	7, 650	6, 700	△950	7, 810
	営業利益	360	300	△60	337

注. 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提として作成したものであり、実際の業績につきましては、さまざまな要素により、予想数値と大きく異なる場合があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、ナフサ等原材料価格、製品の需要動向および市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。